

守山市 発達支援センターだより

令和6年3月号

令和6年3月15日発行

守山市発達支援センター（発達支援課）

守山市下之郷三丁目2番5号 すこやかセンター内

Tel: 077-582-1158 Fax: 077-581-1628



〈歩み寄ることの大切さ〉

園現場では、子どもが遊びや生活の中で「これは困っているな」と保育者が感じる場面がよくあります。困ったこと、わからないことは言葉で伝えてほしいなと思いますね。子どもが自分から伝えてくるのを待とうとするところもあると思います。でも、どれだけ待っても伝えに来られない子、そばには来たけれど伝え方がわからず、なかなか言葉が出てこない子もいますね。そんな時は、子どもからの発信を待つのではなく、子どもの状況や困っている気持ちに気づいた大人の方から歩み寄っていくことが大切です。「～に困っているね。こんな時は～したらいいよ」「～が嫌だったね。」と子どもの気持ちを言葉にすることで、「気づいてもらえてよかった」という安心感を抱くことができます。また、子どもが困っていてサポートを求めていることに気づいたら「～がほしい、かな」や「手伝ってほしい、って言えばいいよ」など子どもの思いを代弁して伝え方のモデルを示すかかわりがよい場合もあります。言葉で伝える力をつけたいという願いは同じでも、大人のかかわり方はその子にに応じて・・・が大切です。



毎年4月2日は

世界自閉症啓発デー

です。

毎年4月2日は「世界自閉症啓発デー」と国連総会で決議されています。4月2日～8日を発達障害啓発週間とし、世界各地ではブルーライトが点灯します。

滋賀県でも、この1週間のうちの3日間、国宝彦根城をブルーライトアップし、自閉症をはじめとする発達障害への理解が深まることを願って啓発活動に取り組まれます。

毎年4/2は 国連の定めた **世界自閉症啓発デー**
 発達障害啓発週間 4月2日～8日

WE BELONG

みんなで歌おう わたしたちのうた

日本各地で啓発イベントが行われます。詳しくは公式サイトへ
<https://www.worldautismawarenessday.jp/>

お問い合わせ先 一般社団法人日本自閉症協会 Tel:03-3545-3389 Fax:03-3545-3381 eij@autism.or.jp

毎年4月2日は国連が定めた **世界自閉症啓発デー**

国宝彦根城 ブルーライトアップ

2024/4/2(火) ▶ 2024/4/4(木)
 ★点灯時間/日没～21:00

世界中がブルーに染まる日

4月2日～4月8日発達障害啓発週間
 毎年4月2日は国連が定めた世界自閉症啓発デーで、世界各地でブルーライトが点灯します。また日本ではこの日から1週間「発達障害啓発週間」です。このため当館では1期間のうち3日間多くの企業や団体、個人のご理解とご協力のもと自営店舗をブルーライトアップし、自閉症をはじめとする発達障害への理解が深まることを目指して啓発活動に取り組んでいます。

協賛 伴ピープル株式会社 株式会社彩生舎 株式会社日本興産 社会福祉法人とよと 近江鉄道株式会社
 レーク観光産業振興組合 株式会社大生産産 株式会社アートスクール コミュニティ・バンク東信

★私たちも応援しています★

星本事務所	社会福祉法人大沢村たんたん会
社会福祉法人東シブヤ	株式会社三興工業社
社会福祉法人すずかの家	谷崎製作所
株式会社山本精工	株式会社アクリル対ポロウのみ富士
エールコーポレーション株式会社	株式会社イーズクリエイティブ
株式会社都心でん共同サービス	滋賀建設株式会社
マアキ電子総合法律事務所	株式会社徳木花火工業
社会福祉法人美輪湖の楽大津	社会福祉法人徳北会
甲西発達株式会社	滋賀県福祉連
滋養製菓株式会社	滋養製菓株式会社
石山寺	滋養製菓株式会社
甲賀高分子株式会社	NPO法人徳育研究会

主催 世界自閉症啓発デー2024滋賀県ブルーライトアップ実行委員会 (会長 高木 三三郎)
 構成団体 滋養製菓、滋養製菓同業協会、NPO法人J.O.Devs滋賀、滋養製菓をつなぐ会、スペシャリティンピックス日本、滋養
 後援 滋賀県教育委員会、滋養製菓同業協会、彦根市、彦根市教育委員会、彦根市社会福祉協議会
 お問い合わせ、実行委員会事務局 TEL:077-581-4705 滋養製菓同業協会 TEL:077-587-2828

セサミストリートに出てくるオレンジ色の髪をしたジュリアちゃんは、自閉症の特徴をした女の子です。手にはいつもウサギの人形「フラッフスター」を持っています。

★守山市内の校園で見つけた合理的配慮を紹介します★

「合理的配慮」とは、一人一人の障害の状態やニーズに応じて、必要な人に支援を提供するものです。一人ひとりの子どもがもつ学習の特性や、個人の状況に応じた支援が必要であり、適切な実践が必要です、ここでは、守山市内の校園を訪問相談や訪問支援で訪れた際に見つけた合理的配慮の事例を、タイプ別に紹介します。

ポイント

<生活の見通し>

- ・「いつ」「どこで」「何を」「どのよう」に分かる。
- ・あらかじめすることが分かると安心。

一目で確認！絵や写真も効果的

<集中・注目のさせ方>

- ・注目する所はココ！と分かる
- ・不要な情報・掲示はなくす！
- ・子どもたちの興味をひきつける工夫を。

見てほしい所だけを強調！

<刺激への配慮>

- ・視覚や聴覚、触覚など感覚の過敏さへの理解と配慮。
- ・刺激量を減らし、ストレスの低い状態での生活を目指す。

苦手な刺激を取り除き 力を伸ばす

具体的な支援

かえりのようい

きょうのよてい
今日の予定

- 1 まちがいさがし
- 2 おしゃべり
- 3 クリスマスとお正月
- 4 カタカナ こぼれが
ふりかえり
- 5 おたのみ

いつでも確認
安心して一人で
活動できます

座る所にマットを用意。
周りに掲示物はありません。

鉛筆と紙のこすれる音や感覚が嫌なので、ラミネードでテスト用紙を挟み、マーカーペンで書けるようにしました。

<指示の理解>

- ・できるだけ少ない指示を、段階的に行う。
- ・視覚的に確認できるようにする。

覚えやすく、シンプルな指示が◎

<読みの困難さ>

- ・言葉のまとまりに/を入れる。
- ・文字を大きくする。
- ・漢字にはルビをつける。
- ・文章を読み上げる。

視点を動かすのが苦手な人には・・・

<書きの困難さ>

- ・書く量の調節をする。
- ・書くべき範囲をしばって板書。
- ・タイピングや板書の撮影を許可する。

困っている理由の見極めが重要！

具体的な支援

指示は一つずつ
子どもの速さに合わせる

リーディングトラックー

フィンガーハイライター

読みたい所だけに
集中して読めます。

大きいマス目
目立つ罫線

作文を見直すための手がかりボード

見直したちつとど
だしいところに
「(かきか)っ」
いさいや・ゆ・よは
たしや
かおう！ならった
カタカナ かん字
ん、まる。つけたら
かんべきだ。
ばしちやいけな
ちいさい

ほんの一例を紹介させていただきました。校園の先生方が一人一人の子どもにたくさんの工夫をされています。子ども自身が、「私はこうすればできるよ」と相手に伝えられ、自信をもって生きていけるのが一番の願いです。